



Reduce Risk.  
Increase Efficiency.  
Be Sustainable.™

**Security Days**  
Tokyo | Spring 2025

# セキュリティとサステナビリティの両立 ～グローバルでのデータ消去の最新トレンド～

Blank is

**secure**   **efficient**   **compliant**   **sustainable**

1. Blanco (ブランコ) について
2. データ消去が必要な理由
3. さまざまなデータ破壊方法と課題
4. Blancoによる課題の解決
5. 導入事例



# アジェンダ

# Blancco (ブランコ) について

## 【世界中で使われているデータ消去ソフト】

1997年の設立以来、一貫してデータ消去を提供し続けている、データ消去ソリューションの専門ベンダーです。

**MSCI**  
ESG RATINGS



FS 687279



IS 687282

**1日あたり約7万台**の機器※  
がBlanccoによって消去されています

※PC、モバイル等各種デバイスの合計

全世界  
**100カ国**  
以上での導入実績

全世界  
**3億**  
以上のライセンス出荷

国内  
**2,000社**  
以上の導入実績

国内  
**7,500万**  
以上のライセンス出荷

中央官公庁  
**5組織**  
以上の導入実績

自治体  
**200組織**  
以上の導入実績

製品認定・認証・推奨  
**15以上**

特許(取得済み・申請中)  
**38以上**

# 取得している認定・認証・エンドースメント



Reduce Risk.  
Increase Efficiency.  
Be Sustainable.™



世界  
Common Criteria  
(ISO15408)



フランス  
ANSSI



ドイツ  
BSI



オランダ  
オランダ国家通信  
セキュリティ機関



ポーランド  
国内保安庁



スウェーデン  
スウェーデン軍



英国  
ナショナルサイバー  
セキュリティセンター



世界  
NATO



ドイツ  
テュフザールランド



英国  
ADISA



日本  
日本ITAD協会



世界  
Ontrack



メキシコ  
NYCE



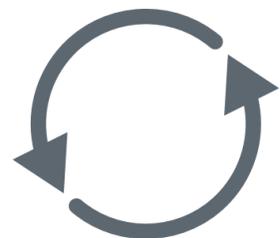
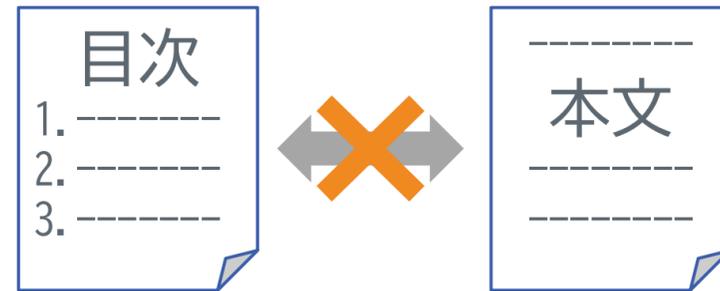
フィンランド  
フィンランド通信規制庁

# データ消去が必要な理由

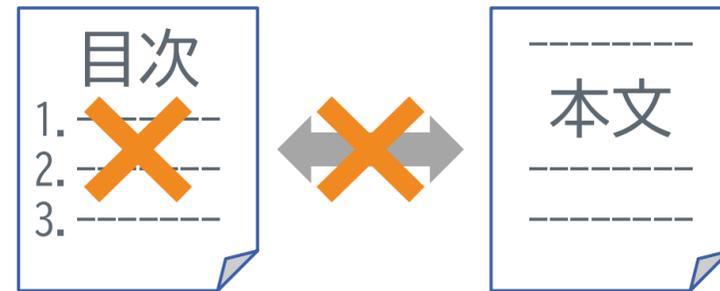
# 削除・フォーマット≠データ消去



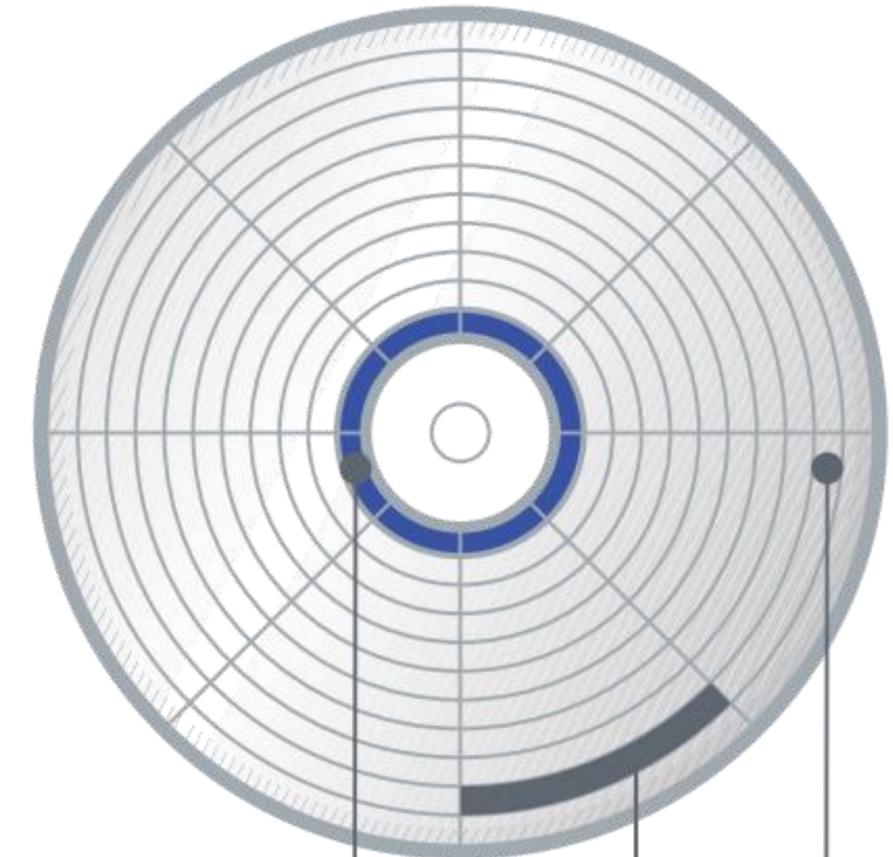
削除



フォーマット



データは消えていない  
＝復元可能



ファイル  
アロケーション  
テーブル

トラック  
セクター

■ 消去された領域

# 「削除・フォーマット」が起こしうる事件

企業  
官公庁



**盗難・紛失による  
情報の流出**

情報が残ったまま、  
資産が外部へ移動

リース・レンタル会社  
リユース・リサイクル企業  
データ消去事業者

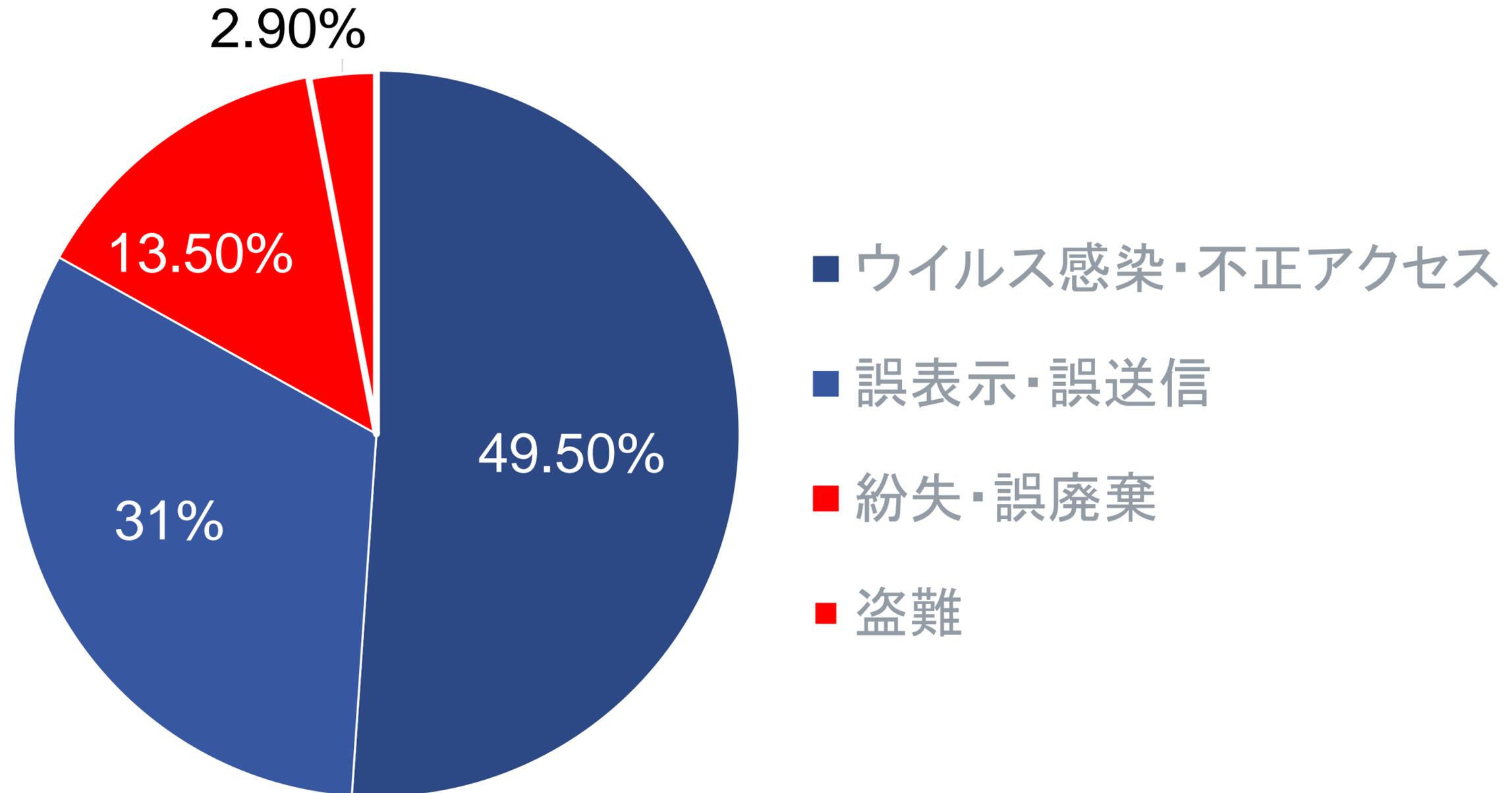
**過失による  
情報の流出**

個人情報

- ・ 氏名
  - ・ 電話番号
  - ・ メールアドレス
  - ・ 生年月日
  - ・ 個人が特定できる画像
  - ・ その他、個人が特定できる情報
- ファイル削除  
フォーマット**

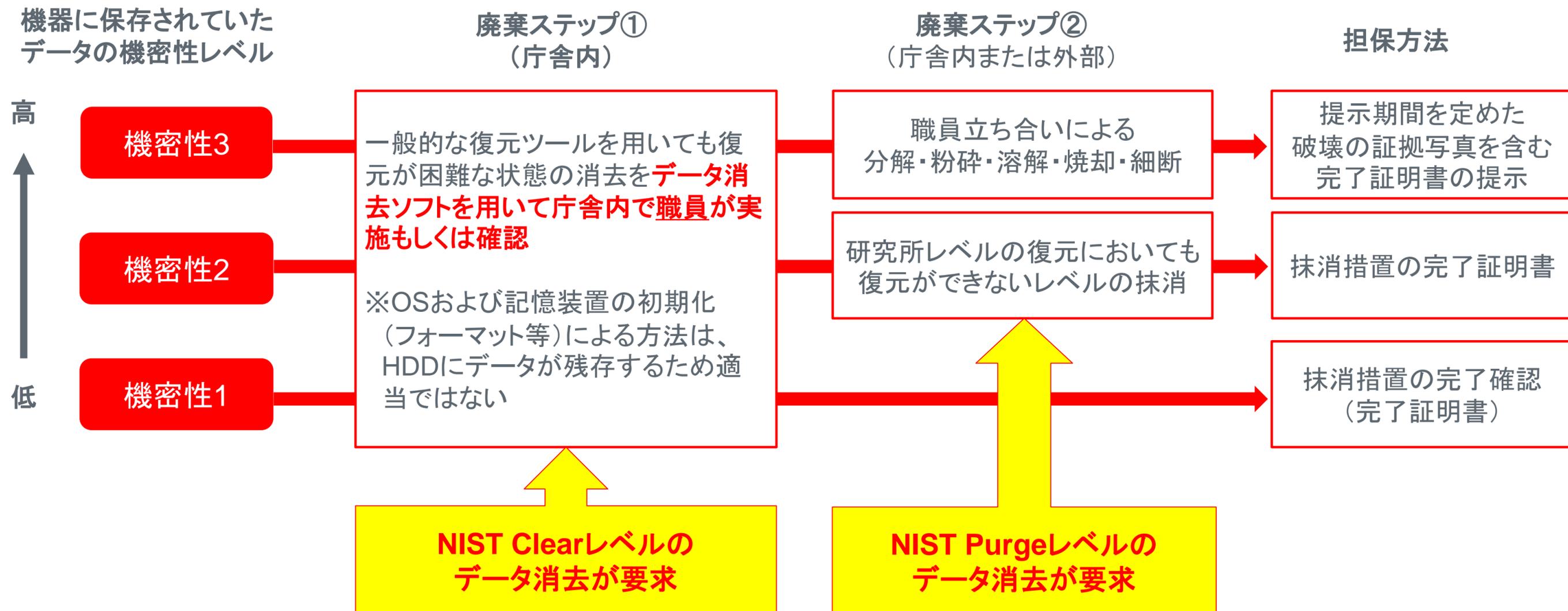
顧客情報  
契約情報  
給与明細  
などなど...





参照：[東京商工リサーチ「上場企業の個人情報漏えい・紛失事故」調査\(2020年\)](#)

## ガイドラインで明確にされた機密性に応じた機器廃棄プロセス



## データ消去管理が求められる法令・基準

公共	個人情報保護法 および、特定分野ガイドライン	ISMAP	ISMS	プライバシーマーク	NISC 政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準 総務省 地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
金融					FISC 安全対策基準、PCI DSS
情報通信					総務省 電気通信分野における情報セキュリティ確保に係る安全基準 総務省クラウドサービス提供における情報セキュリティ対策ガイドライン
製造					経済産業省 情報セキュリティ管理基準 総務省 IoT セキュリティガイドライン クレジットカード製造におけるセキュリティ基準(PCI CP)
医療					厚生労働省 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン
文教					文部科学省 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン



## GDPR

→ General Data Protection Regulation  
(一般データ保護規則)

### 【巨額の制裁金】

- **最大1,000万ユーロまたは年間売上高の2%のいずれか高い方**
- **最大2,000万ユーロまたは年間売上高の4%のいずれか高い方**

# E-Waste

## (電子廃棄物)



約200～300kg



約300kg～



約20～30kg



- ✓ 2010年以降、電子廃棄物の発生量は年間で約23億kgも増加
- ✓ 2030年までに、世界で発生する電子廃棄物は820億トンになると予測
- ✓ リユース・リサイクルされているものは全体の約22.3%
- ✓ 電子廃棄物の発生は、リサイクルの5倍の速さで増加

参照：[The Global E-Waste Monitor 2024](#)



630億ドル(約9.4兆円)もの再利用・リサイクル・売却可能な資源が、焼却、埋め立て、または不適切に処理

参照: [The Global E-Waste Monitor 2024](#)



[Video description](#)

[Transcript](#)

[News in-depth](#) **News in-depth**

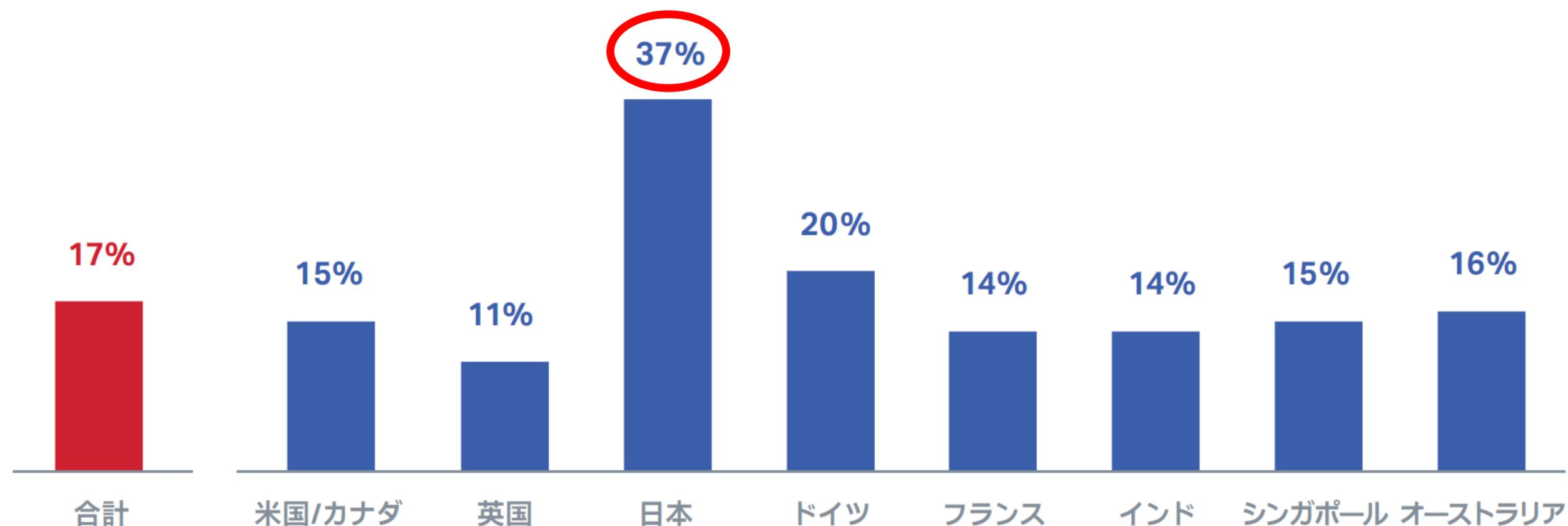
## Recycling the world's hard drive waste | FT Rethink

Shredding hard drives may be a sure-fire way to prevent data leaks from discarded devices, but, as the FT's TMT correspondent Anna Gross reports, it can create significant amounts of waste and squander rare metals. Wiping software can be used to delete information, but why are companies reluctant to do it?

[🐦](#) [f](#) [in](#) [Save to myFT](#)

February 13 2023 Presented by Anna Gross. Produced by Alpha Grid.

物理破壊もしくは消磁を採用している組織の割合



2019年 Blancco調査レポート: 誤ったセキュリティ意識

# 物理破壊の代償

	 平均/合計	 オーストラリア	 カナダ	 フランス	 ドイツ	 インド	 日本	 シンガポール	 英国	 米国
合計	596	60	50	70	70	70	60	36	70	110
物理破壊と報告されたSSDの年間平均台数	1,433	1,348	1,385	1,748	1,506	1,456	1,331	1,292	1,478	1,316
SSD 1台あたり15~20USドルの物理破壊費用	\$21,495 \$28,660	\$20,220 \$26,960	\$20,775 \$27,700	\$26,220 \$34,960	\$22,590 \$30,120	\$21,840 \$29,120	\$19,965 \$26,620	\$19,380 \$25,840	\$22,170 \$29,560	\$19,740 \$26,320
全回答者の物理破壊の年間平均費用合計 (百万USドル)	\$12.8M \$17.0M	\$1.2M \$1.6M	\$1.0M \$1.4M	\$1.8M \$2.4	\$1.6M \$2.1M	\$1.5M \$2.0M	\$1.1M \$1.6	\$0.7M \$0.9M	\$1.6M \$2.0M	\$2.2M \$2.9M
新しいSSD購入に必要な年間平均費用	\$65,235	\$58,334	\$65,100	\$66,857	\$70,715	\$49,000	\$51,500	\$51,945	\$68,786	\$84,455
全回答者の新しいSSD購入の年間平均費用合計	\$39.1M	\$3.5M	\$3.3M	\$4.7M	\$5.0M	\$3.4M	\$3.0M	\$1.8M	\$4.8M	\$9.3M
全回答者の物理破壊とSSD交換の費用総額	\$51.9 M \$56.1M	\$4.7M \$5.1M	\$4.3M \$4.6M	\$6.5M \$7.1M	\$6.5M \$7.0M	\$5.0M \$5.5M	\$4.2M \$4.7M	\$2.5M \$2.7M	\$6.4M \$6.9M	\$11.5M \$12.2M

再利用可能なSSDを物理破壊することで、物理破壊のコスト+ディスク交換費用が発生

各公共機関における平均費用：  
**年間数千万円～数億円**

2022年 Blancco調査レポート: 物理破壊の代償

# さまざまなデータ破壊方法と課題

# さまざまなデータの破壊方法

## 物理破壊



回転軸を持つHDDに対しての穴あけや折り曲げなどの物理破壊は、有効。

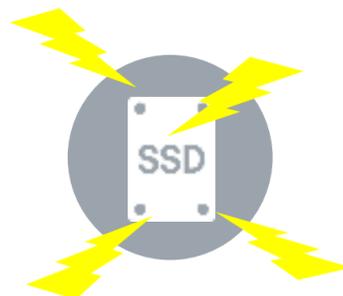


フラッシュメモリの集合体に対しての穴あけや折り曲げなどの物理破壊は、**全領域のデータ破壊が難しい。**

## 磁気破壊



磁気で書き込みを行うHDDに対しては、磁気を照射することにより、その書き込みデータを消去することが可能。

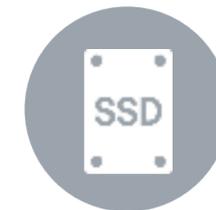


磁気での書き込みを行わないフラッシュメモリに対して、磁気照射ではデータの消去は**無効。**

## 上書き消去

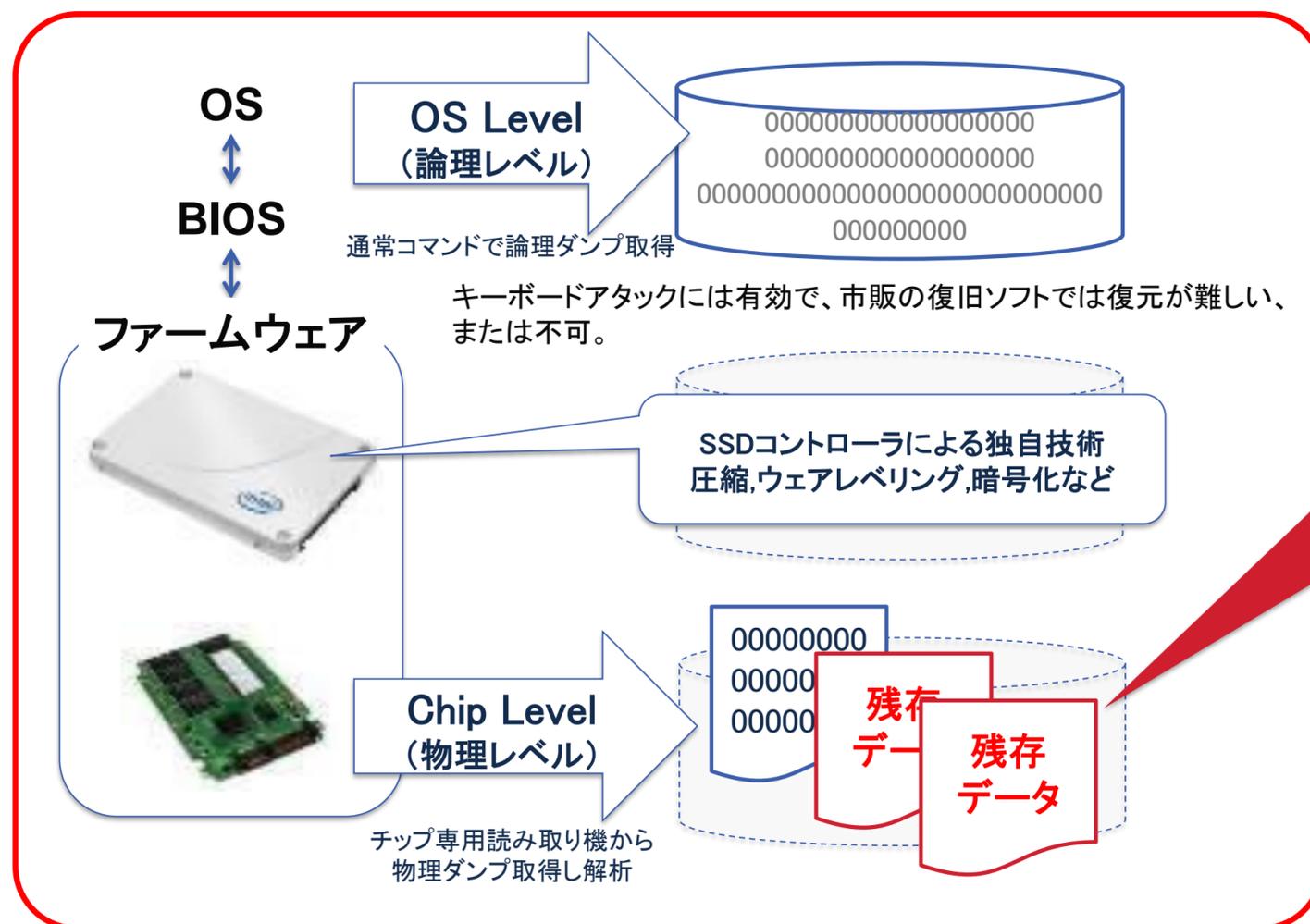


HDD全領域のデータを別の無意味なデータで上書きすることにより、元のデータを復元できないようにすることが可能。



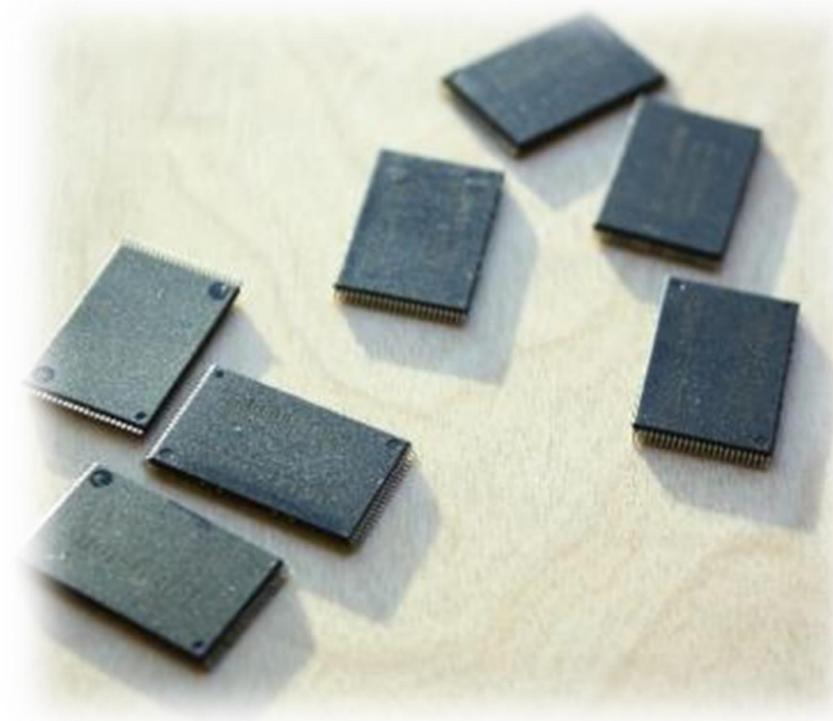
HDD用の上書き方法では、SSDの全領域に対する上書きが実施できず、**データが残存する可能性が残る。**

## 一般的な上書き(従来のHDDと同じ方法)でSSDを消去した場合の問題点

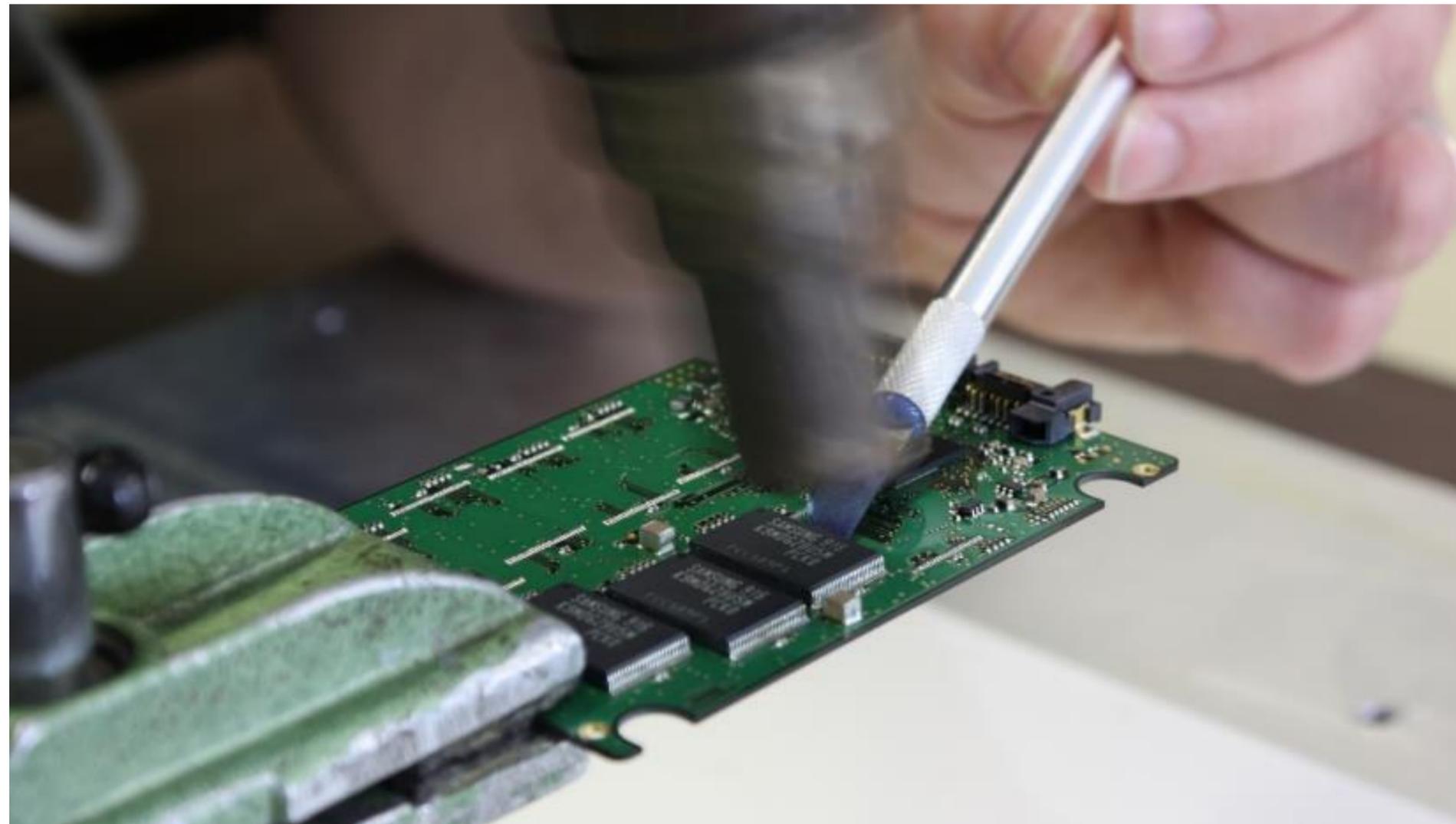


SSDやコンピューターの持つ機能(フリーズロック、圧縮機能、ウェアレベリング、オーバープロビジョニング、ファームウェアコマンド)により、すべてのデータを上書きできず、データを復旧できる可能性が残ります。

# NANDメモリチップの解析技術・復旧手段

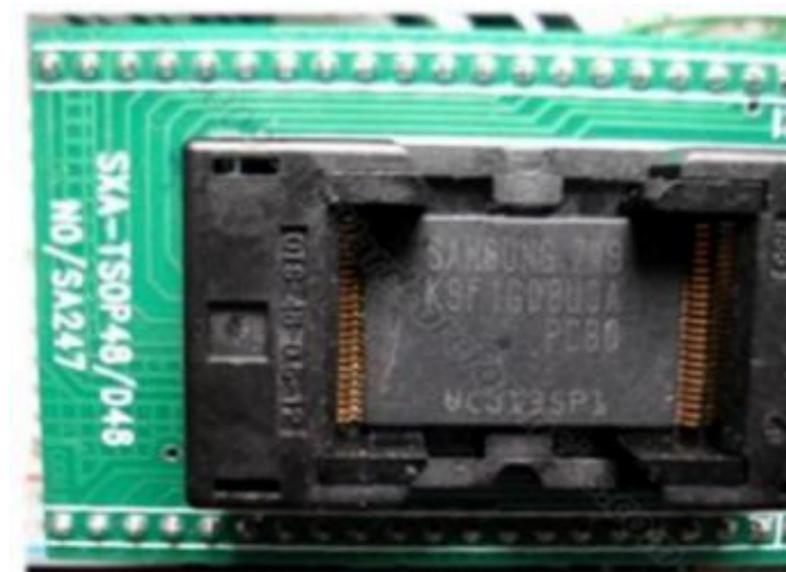
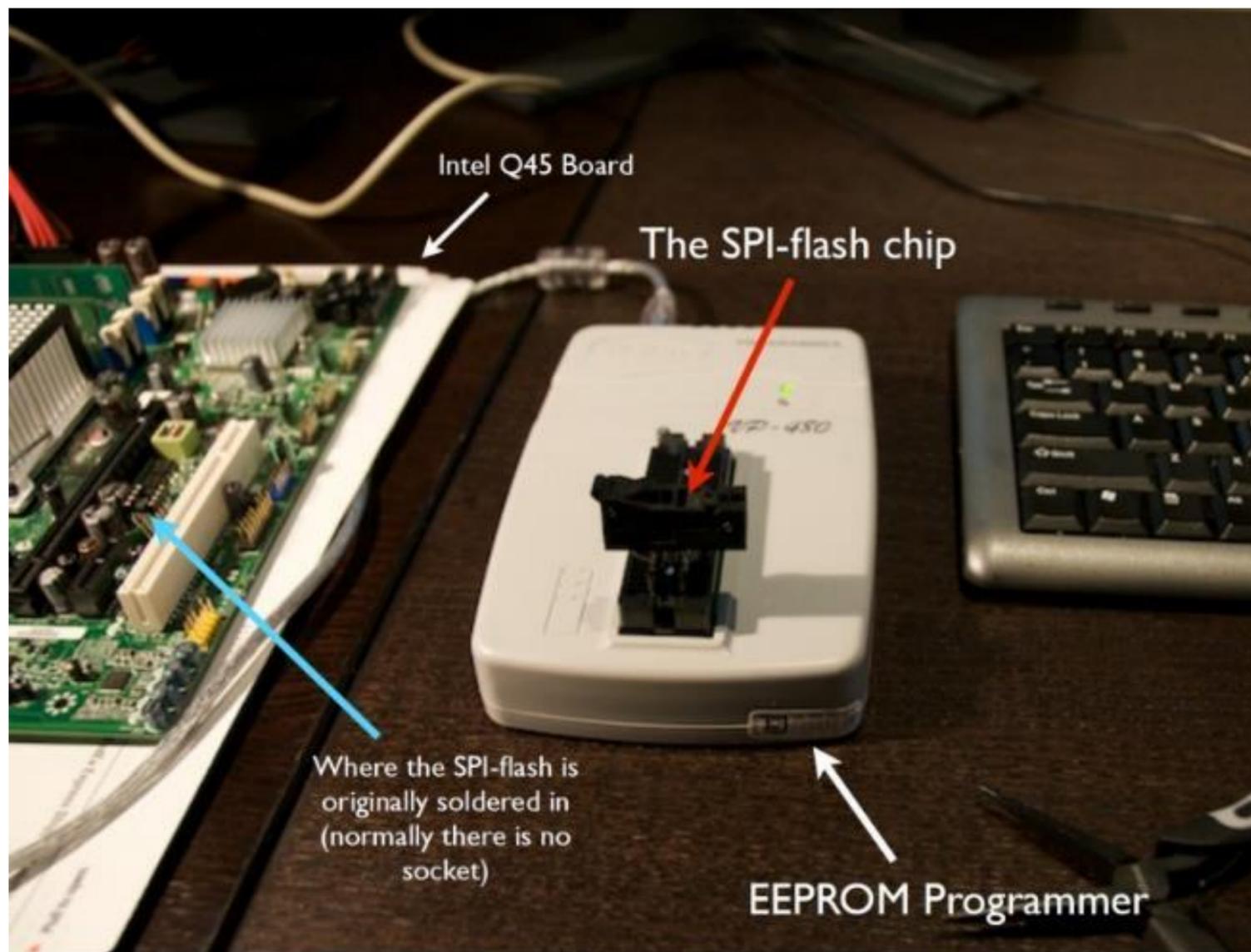


# NANDメモリチップの解析技術・復旧手段



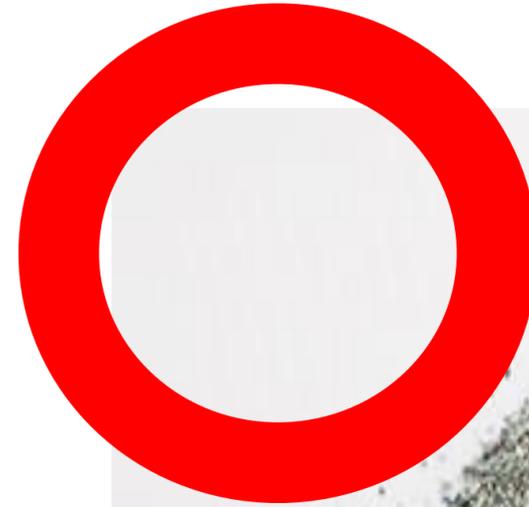
【Confidential】 無断転載・複製禁止

# NANDメモリチップの解析技術・復旧手段



【Confidential】 無断転載・複製禁止

# SSDの物理破壊



**穴の空いたSSDが中古市場に！**

【参照】ITmedia: “穴あきSSD”販売でPCパーツショップが謝罪

# データ消去のトレンド



1回よりも3回上書きしたほうが安全！

HDDもSSDも、DoDやNSAなどの  
複数回上書きする消去方式でやるぞ！

National Institute of Standards and Technology  
米国国立標準技術研究所

HDDから紙媒体、ネットワーク機器、モバイル機器、フロッピーディスク、SDカード、CD等も含む包括的なガイドライン。

2014年12月に更新され、従来のHDDに加え、SSDやスマートフォンなどについても、新たに記憶媒体として追加。スマートフォン、SSD等の最新のストレージについてのデータ消去推奨方式も定められました。



## ◆NIST SP 800-88 Revision 1

### ✓ 「上書き」の定義

“磁気媒体に保存されたデータの上に別のデータのパターンを書き込むこと。NSAの研究(2004年発表)によれば、ほとんどのドライブは1回の上書きで十分にサニタイズできる。”

## ◆NIST SP 800-88

✓ “2001年以降に製造されたATAディスクドライブ(15 GB超)では、「消去」と「除去」の意味は同一である。研究(NSAの研究)の結果、こんにちの媒体のほとんどは、現在利用できるサニタイズ技術を使って1回上書きするだけで効果的に消去および除去できることがわかっている。”

参照：[NIST Special Publication 800-88\(媒体のサニタイズに関するガイドライン\)](#)

IPA・NRIセキュアテクノロジーズ翻訳監修

## ◆NSA(米国国家安全保障局): NSA Advisory LAA-006-2004

✓ 2004年に発表した勧告文書(LAA-006-2004)で、HDDは1回以上上書きすることで十分ということが記述されています。

	NIST 800-88 Purge	NIST 800-88 Clear	DoD 5220.22-M (米国防総省方式)
SSDへの対応	○	○	×
消去時間※	<b>3分28秒</b>	<b>7分24秒</b>	<b>39分39秒</b>
上書き回数 (HDD)	1回 (ファームウェアベースの消去)	1回	3回
上書き回数 (SSD)	1回 (ファームウェアベースの消去)	1回 (ファームウェアベースの消去 または0x00で上書き)	-
最終更新	2014年12月	2014年12月	2006年2月

※消去時間はストレージの容量や状態、書き込み速度により大きく結果が異なります。  
上記の消去時間は、ストレージ容量:256GB(SATA/SSD)での実行結果です。



- ✓ NIST SP800-88Rev.1を踏襲
- ✓ SSDやHDDについては詳細化
- ✓ 暗号化消去に関する記述も詳細に

「〇〇〇しているから大丈夫」

# 暗号化しているから大丈夫？



- ✓暗号鍵はきちんと管理できていますか？
- ✓使用開始時から暗号化していましたか？
- ✓ディスクの廃棄時に、暗号鍵のバックアップ（合鍵）や複製した暗号鍵もきちんと消去できていますか？
- ✓暗号化は確実に（100%）機能していますか？
- ✓暗号鍵を消去したことを確認する手段は？

# リース物件だから消去しなくて大丈夫？

## 2. リース契約と情報記憶媒体に記録されたデータの取り扱い

### (1) 企業のリース契約

#### ①データの管理

リース契約において、リース開始日から満了日までの間は、ユーザーがリース物件を占有して使用します。リース物件がパソコンやサーバー等の場合は、ユーザーが使用をする中で、リース物件にデータが記録されていきます。

当該データの管理責任は、当該データの取り扱いをしているリース物件の使用者であるユーザー（企業）にあり、リース期間中だけではなく、当該リース物件をリース会社に返還する場合においても、当該データを廃棄する責任は当該ユーザーにあります<sup>11</sup>。

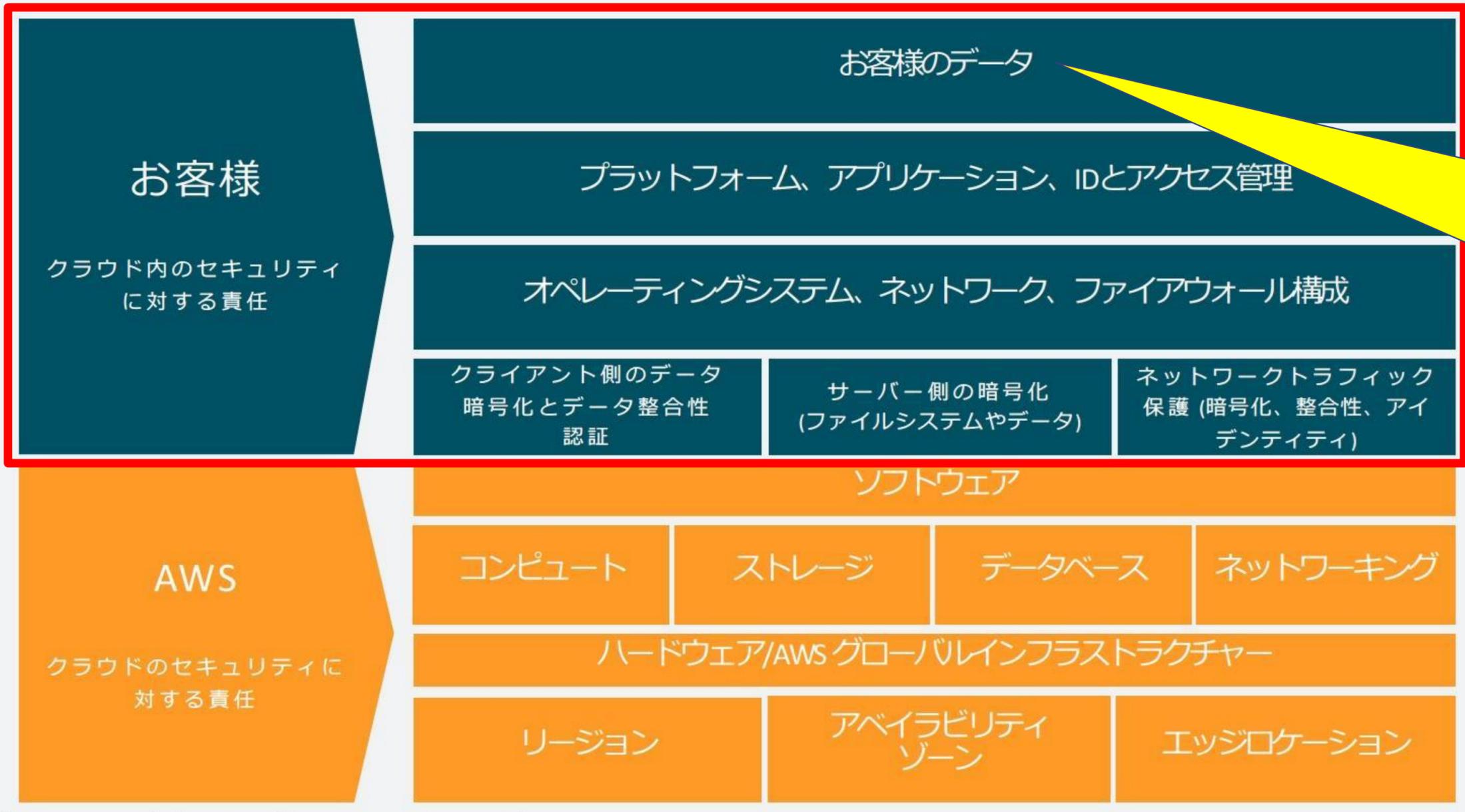
リース会社において、リース終了物件にデータが記録されているか否か、そのデータの内容を確認することはありません。

個人情報保護法においても、個人情報取扱事業者<sup>12</sup>は、「その取り扱う個人データの漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。」（個人情報保護法第 20 条）と規定されています。「安全管理措置」の具体的な内容は、個人情報保護委員会が公表している「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」（2016 年 11 月、2019 年 1 月一部改正）に例示が示されています。

- ✓ 保存されているデータは、リース会社ではなく、ユーザーの責任下にあります。
- ✓ データが保存された状態の場合、盗難・紛失時のデータ漏洩リスクは消えません。

**【参照】公益社団法人リース事業協会  
情報記憶媒体を有するリース終了物件の処理等について**

# 責任共有モデルに基づくデータの管理

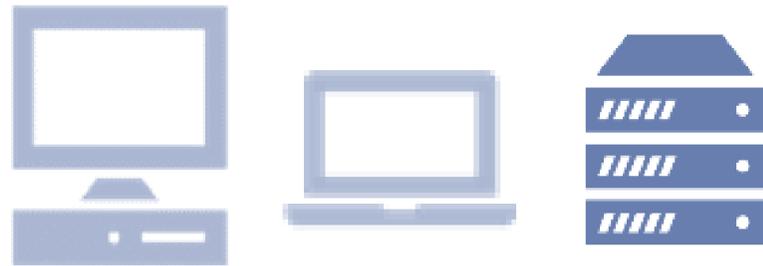


**“お客様のデータ”を  
“お客様の責任のもと”**  
データのライフサイクル視点  
で管理  
する必要があります

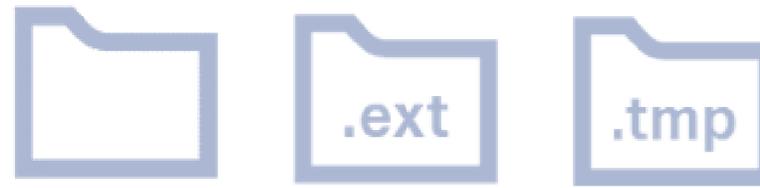
【参照】[Amazon Web Services: 責任共有モデル](#)

# Blanccoによる課題の解決

# データ消去が必要となるシーン(例)



PCやサーバー、ストレージの  
廃棄やリース返却時

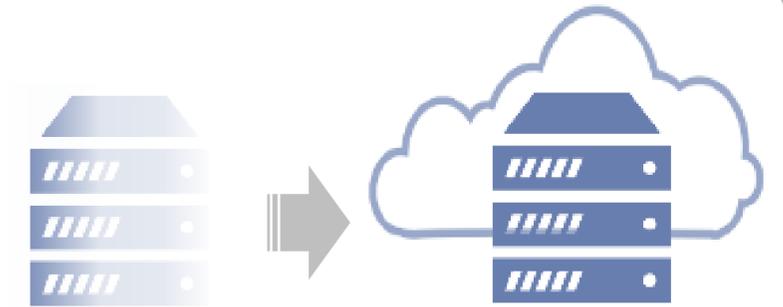


ファイル  
/フォルダ

使用済み情報  
ファイル

添付ファイル

不要になった個人情報・機密情報  
を含むファイルの削除時



クラウドへ移行した後の  
物理サーバー・ストレージの  
廃棄やリース返却時



クラウド環境の  
契約終了・使用終了時



スクール端末やモバイル端末の  
廃棄やリース返却時

## 資産ライフサイクル視点での 消去管理

### Blancco Drive Eraser

HDD / SSDデバイスのデータ消去



### Blancco Mobile Diagnostics & Erasure

タブレット、スマートフォンの  
データ消去および診断



### Blancco Removable Media Eraser

外部メディアのデータ消去



## Blancco Management Portal

データ消去レポートの一元管理  
および傾向分析



## 情報ライフサイクル視点での 消去管理

### Blancco Virtual Machine Eraser

仮想マシンのデータ消去



### Blancco File Eraser

ファイル、フォルダのデータ消去



### Blancco LUN Eraser

アクティブストレージの論理ユニット  
におけるデータ消去



消去レポートの集中管理

消去プロセスのモニタリング

データ消去の統計管理

APIによる運用の自動化

Blanccoライセンス管理

ユーザーアクセス管理

管理画面のカスタマイズ

ネットワークブートによるデータ消去 (Drive Eraser)

# Blanccoのデータ消去レポート



Reduce Risk.  
Increase Efficiency.  
Be Sustainable.™

## 【ディスク情報】

ディスク:	ベンダー: SAMSUNG	モデル: MZ7PD128HCFV-000H7	シリアル番号:
	容量: 128GB	バス: SATA/SSD	セクター数: 250069680
	HPA: 存在しません	DCO: 存在しません	リマップセクター数: 0
	ヘルス状態: 良い		

## 【消去情報】

消去後のリマップセクター数:	0
消去の開始/終了日時:	2020-10-06 16:11:30 / 2020-10-06 16:36:42
消去時間:	00:25:12
消去方式:	Blancco SSD Erasure - ATA
消去のラウンド:	4 (2 上書き, 2 ファームウェアベースの消去)
ステータス:	消去済
情報:	デバイスはSSDです。詳しくはマニュアルを参照してください。

## 【ホストマシン情報】

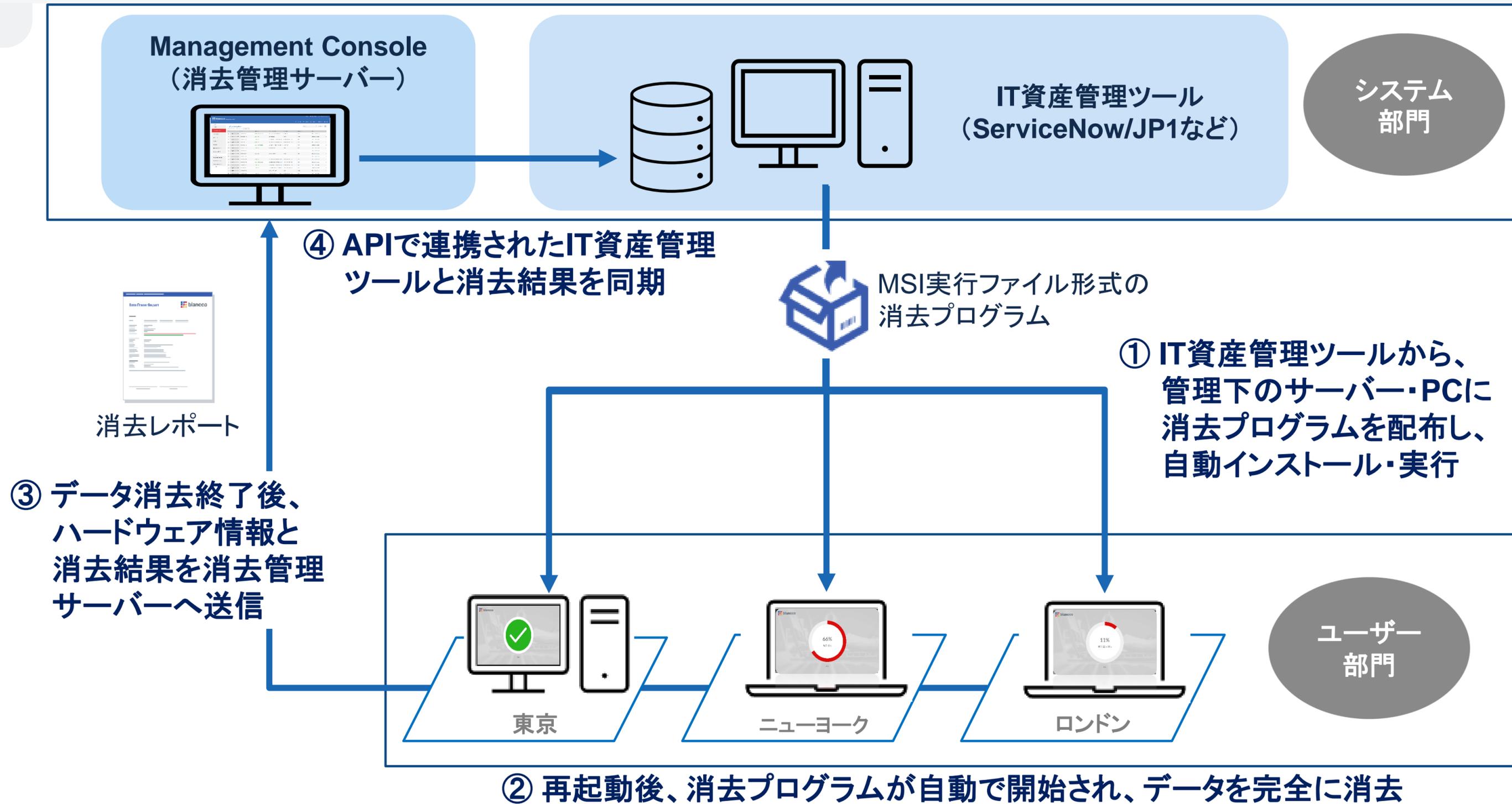
メーカー:	Hewlett-Packard
筐体:	Desktop
モデル:	HP EliteDesk 800 G1 DM
シリアル番号:	
UUID:	
アセットタグ:	
プロセッサ:	GenuineIntel, Intel(R) Core(TM) i7-4785T CPU @ 2.20GHz, コア : 4, ステッピング: 3, 公称速度: 2200MHz, 最大速度: 3200MHz, 外部クロック: 100 MHz, 電圧: 1.2 V

## 【レポート詳細】

レポートUUID:	47e02d66-b35b-436d-a685-f71eba2be948
レポート日時:	2020-06-14 22:46:44 (+0000)
ソフトウェアバージョン:	Blancco Drive Eraser 6.5.2
電子署名:	MCwCFDIIjFKKD6MeR715ke8YuSEUfd6AhQmlQK/Q9v5FjLNst5Xen1oLoR0nQ==

The screenshot shows the Blancco data erasure report interface. At the top, it displays the date and time of the report: 2020-10-06 16:36:46 (+0000). The report title is "データ消去レポート" (Data Erasure Report). Below the title, there is a section for "データ消去結果" (Data Erasure Results) which includes the same disk information as the first table: SAMSUNG MZ7PD128HCFV-000H7, 128GB, SATA/SSD, 250069680 sectors, and good health status. The "消去後のリマップセクター数" (Number of remapped sectors after erasure) is 0. The "消去の開始/終了日時" (Start/End time) is 2020-10-06 16:11:30 / 2020-10-06 16:36:42, and the "消去時間" (Erasure time) is 00:25:12. The "消去方式" (Erasure method) is Blancco SSD Erasure - ATA, and the "消去のラウンド" (Erasure rounds) is 4 (2 overwrites, 2 firmware-based erasure). The "ステータス" (Status) is "消去済" (Erased). A note states: "デバイスはSSDです。詳しくはマニュアルを参照してください。" (The device is an SSD. Please refer to the manual for details). Below this is the "ハードウェア詳細" (Hardware Details) section, which lists system information such as Manufacturer (Hewlett-Packard), Model (HP EliteDesk 800 G1 DM), Processor (Intel Core i7-4785T), Memory (Samsung 4096MB), and various other components. At the bottom, there is a "レポート詳細" (Report Details) section with the report UUID, date, software version, and a digital signature.

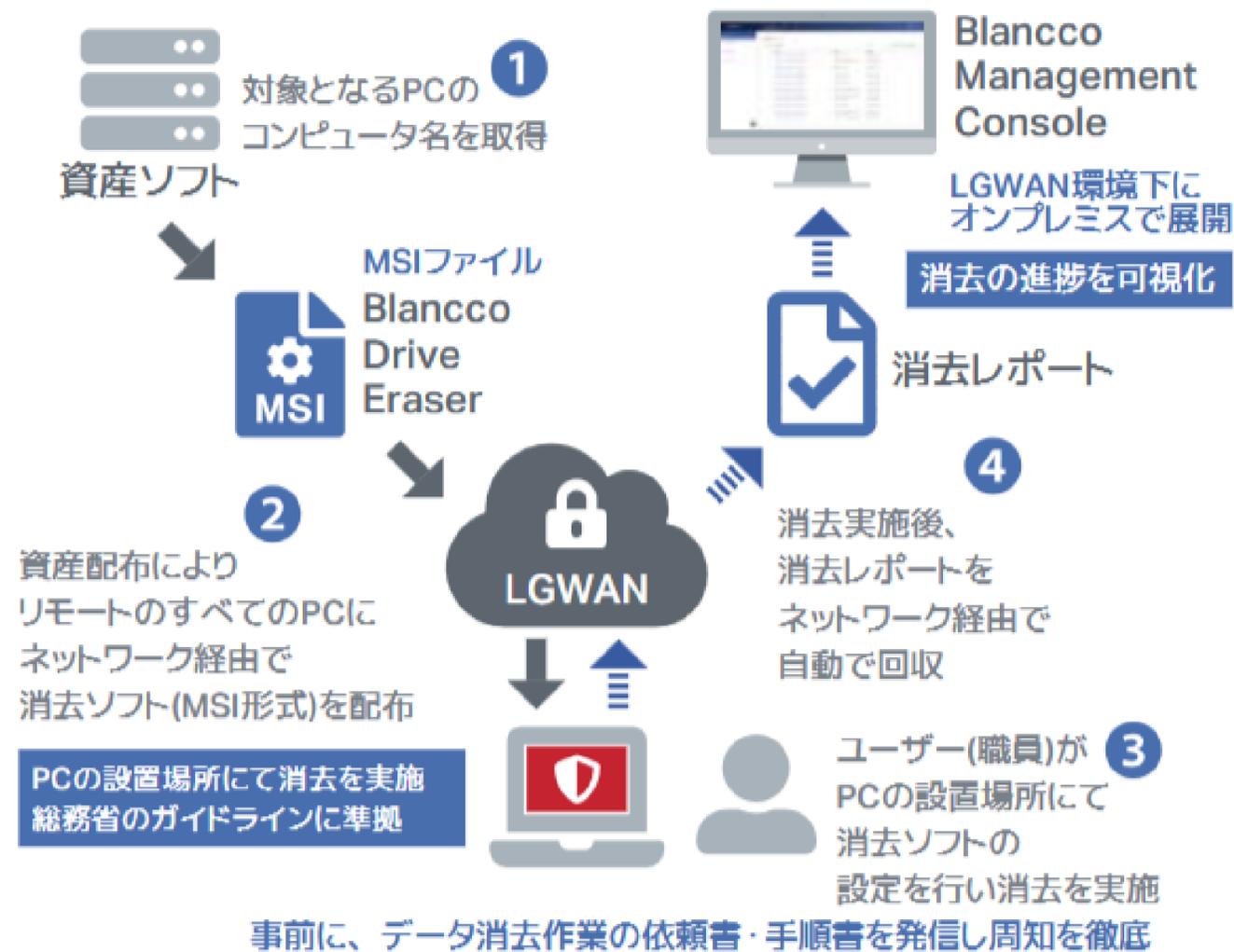
# 運用例: IT資産管理ツールとの連携による クライアントPCの消去自動化ソリューション



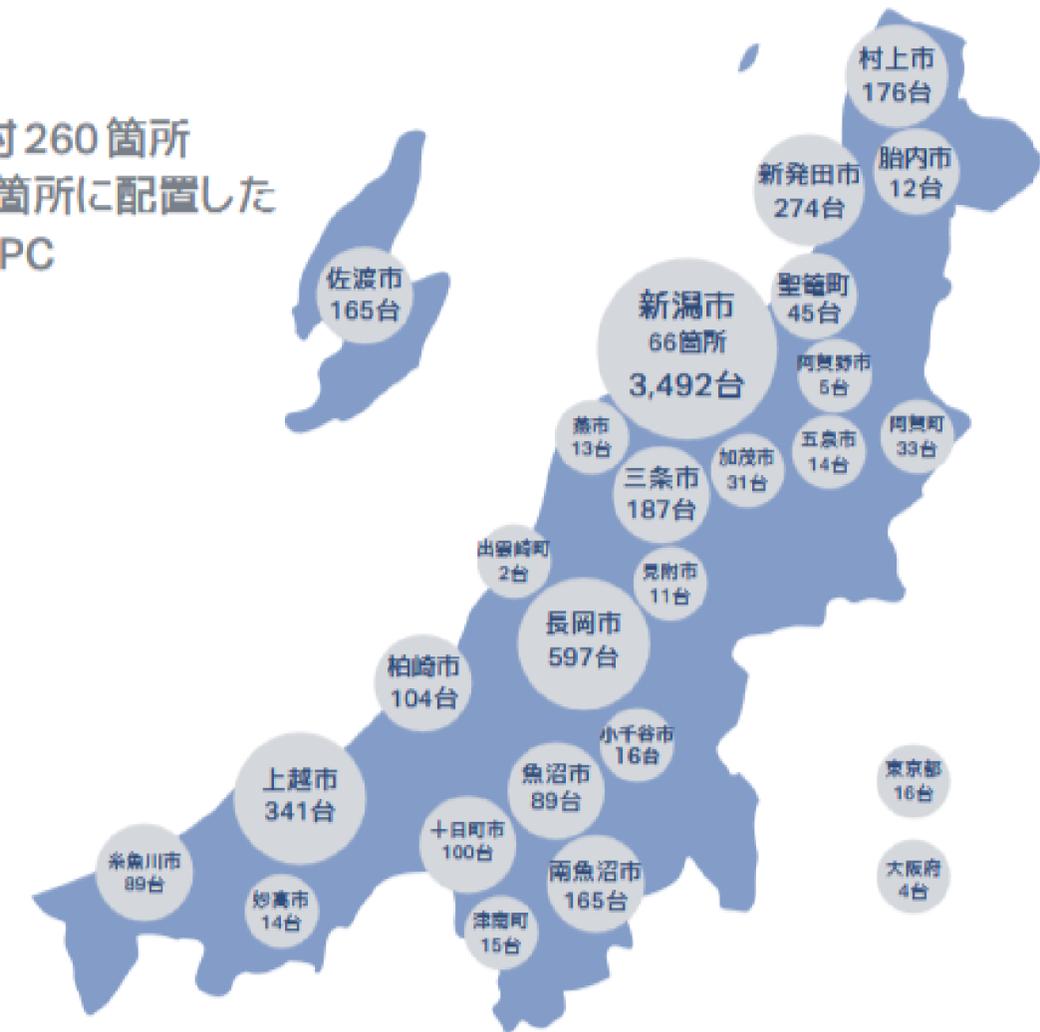
# 導入事例

# 導入事例：新潟県様

## 本庁のICT推進課からデータ消去を一元管理



県内24市町村260箇所  
および県外2箇所に配置した  
約6,000台のPC



【協力パートナー様】



# 最後に...

	現状確認のポイント	潜むリスクや不適切な状態/内容	check
1	移動前に消去していない (すべて業者に任せている)	移動中や作業委託先での紛失/盗難のリスク	<input type="checkbox"/>
2	SSDのデータ消去方法	従来(DoDやNSA方式)とは異なる消去規格が必要	<input type="checkbox"/>
3	記憶媒体はすべて物理破壊	SSDのメモリチップの完全な破壊は簡単ではない 不要な廃棄コスト	<input type="checkbox"/>
4	管理に工数がかかっている	旧規格による長いデータ消去時間、社内の機器集約、 情シス側への履歴管理工数過多	<input type="checkbox"/>

どれか1つでも当てはまる方は、  
**弊社までご相談ください！**

ご清聴ありがとうございました

Thank you